

建設現場でDXを導入し、業務改善の実績を持つ飛鳥建設と、最先端のICT技術力や多岐にわたるアセット、地域密着の営業力を持つNTTグループが、それぞれの強みを生かす。

新会社は、建設現場でのICT関連業務のBPO事業を柱に、監視カメラの中央制御や顔認証による入退場管理、スマートクラス（多言語翻訳機能などの建設現場向けICTサービス・業務改善サービスを実施、建設現場で必要な資材、道具、保険などを二元的に調達

### 積算資料住宅建築編

4月1日に発売

### 経済調査会

経済調査会（東京都港区）は、新築住宅の建築費の目安や見積もり相場を知るための資料「積算資料ポケット版 住宅建築 2022年度版」を4月1日に発売する。

### 新刊紹介



る。住宅・店舗の見積もりに必要な工種別工事費・建材情報など約2万点のデータを収録している。

特集では、木造住宅の省エネ性能とコスト比較、長寿命化を実現する上での基礎知識などを解説。また、「とっとり健康省エネ住宅（NEES）」の普及促進に取り組み自治体の事業内容、「ZEH仕様住宅」や「地域型住宅グリーン化事業」の補助金を活用した実例を紹介。施工時のポイントなどを交えて、具体的な仕様と詳細な見積費用を公開している。

A5判 752ページ  
ISBN 978-4-186374-311-3  
価格は2934円（税込み）。

問い合わせ先はフリーダイヤル（0120）271106。

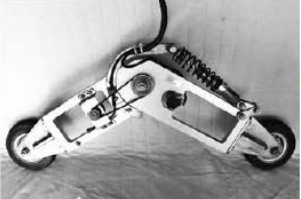
## 新商品・新技術 ウォッチ

### 路面残存強度 推計予測で新技術

#### サーフテクノ・ラボ

道路の維持管理に向け「舗装の点検要領」の改良調査機械を開発・販売するサーフテクノ・ラボ（一宮市）は、路面の残存強度を推計予測する新たな技術の開発に成功した。

同社は、国土交通省が



調査に使った測定値 I-R1プロファイラ

「舗装の点検要領」の改良ポイントに挙げる①舗装の構造的健全度の重視②新たな指標として国際ラフネス指数（IRI）の採用の2点に対応した調査機械の研究を進めてきた。

開発に当たっての調査手順は、車両の後輪軸に装着したI-R1プロファイラ（逐次二角法）で縦断形状を測定し、20分ごとに統計値を算出。その上で、舗装構造評価装置（FWD）による強度既知場所を使った比較実験などを通じ、強度推計を予測した。この調査技術の普及によ

#### スマートロック

### 新機種を発表

#### 構造計画研

構造計画研究所（東京都中野区）は、スマートロック「RemoteLOCK 8ji-Q」の新機種を発表した。

新機種は、非接触ICカード技術「Felica」に対応する「RemoteLOCK 8ji-Q」と、QRコードに対応する「RemoteLOCK 8ji-Q」。入居用のスマートロックとしてクラウド上の登録・管理の他、スマートフォ



新機能のイメージ

ンや紙面などに表示したQRコード情報での解錠が可能になる。非対面・非接触を促進するため、コロナ禍の感染症対策としても活用することが可能。

販売開始は、今年の春ごろを予定している。詳細はウェブサイト（<https://remote-lock.kke.co.jp/products/>）。